



1



3



2



4

- ①蔵之元鉦踊り伝承部会
(蔵之元集落十五社神社)
- ②山門野集落牛深ハンヤ踊り保存会
(渦集落若宮神社)
- ③城川内子供育成会
(城川内集落若宮神社)
- ④脇崎集落による棒踊り
(山門野集落南方神社)

このほか、鷹巣種子島鐘踊り保存会は20会場で舞を披露するなど、町内は祭り一色となりました。

午前9時、蔵之元集落の十五社神社では、蔵之元鉦踊り伝承部会が勇壮な舞を披露し、観覧に訪れた住民からは温かい拍手が送られていました。

渦集落の若宮神社では午前10時から6地区の踊り手たちが次から次へと舞や演奏を奉納し、隊列や円になって、跳ねたり駆けたりするなど力強い動きに歓声が上がりました。

8月8日、本町の伝統行事である御八日踊りが町内の神社や各集落で奉納されました。

今年は18地区21団体が参加し、強い日差しの下、色とりどりの衣装や飾りを身に付けた踊り手たちが汗だくになりながら、かねや太鼓を打ち鳴らしました。

午前9時、蔵之元集落の十五社神社では、蔵之元鉦踊り伝承部会が勇壮な舞を披露し、観覧に訪れた住民からは温かい拍手が送られていました。



鷹巣種子島鐘踊り保存会のかね踊り
(宮ノ浦港)

御八日踊りで悪疫退散

由来

1565年3月、野田領主の島津忠兼ただかねが城川内の堂崎城主天草越前正あちぜんのかみを攻め滅ぼし島津領としましたが、同年7月8日に忠兼は甥の出水領主島津義虎よしたらに出水城で謀殺されました。

その後、長島全土に悪疫が流行したため、島民は忠兼のたたりとして、その霊を慰めるために城川内集落の若宮神社に忠兼の御霊を祀り、毎年旧暦7月8日に大祭をして、踊りを奉納するようになりました。



田尻集落の正調五ツ太鼓宗家小牟田流神道場
(渦集落若宮神社)